

【学校教育目標】「心身ともに健康で、温かい思いやりの心をもち、自ら学び考える児童の育成」														
＜目指す学校像＞			子どもにとっては「行きたい学校」		保護者にとっては「行かせたい学校」		地域住民にとっては「支えたい学校」		職員にとっては「働きたい学校」					
の体育徳成知	重本点年度目標の	心の花	児童の実態	アンケートの項目				結果	評定	前学期の成果	今学期の課題			
			「○」は目指す子どもの姿に関する質問で、「◇」は、その子どもの姿の実現を図るために、教師が努力できたかを問う質問である。					A…できている B…ほとんどできている C…あまりできていない D…できていない	A+B>90%→◎ A+B>75%→○ A+B<75%→△ A+B<50%→▼					
【体育】 心も体も健康でたくましい子ども	健やかな体を育成する。	げんきの花	多くの子どもが楽しく元気に学校生活を過ごすことができており、休み時間は、外で元気に遊んでいる。 ろう下を走るなど、学校生活のきまりを守れていない子どももいるが、ほとんどの子どもが落ち着いた態度で学校生活を送っている。	○ 欠席が少なく、多くの子どもが元気いっぱいに登校できている。	A	B	C	D	63 %	32 %	5 %	0 %	◎	●多くの子どもたちが、学校生活に適応し、校内では大きなトラブルもなく、元気に登校できている。 ●子どもたちは、元気に外で遊んでいる。中休みも昼休みも休み時間になると、思い切り、外に駆け出している。エネルギーがあふれ出していて、とても良い状態である。 ●遅刻が多い子どもは保護者にもお願いしているが、なかなか難しい。それでも、学校に来れば、元気に笑顔で仲よく過ごすことができている。 ●早寝・早起き・朝ご飯については、家庭によって多少の差はあるが、実践できていると考えられる。 ●今学期、自転車でのけがや大きなけがもなかった。全体を通して病気で休みの子は少なかった。 ●校外活動時における公共施設等利用の際のマナーや安全指導についての事前・事中の対応で、子どもたちは、公共施設利用時のマナーを学ぶことができていると考える。 ●特別教室や体育館への移動に当たっては、整然と並んで移動している。これが「当たり前」になるように、今後も指導を組織的に続けたい。
			◇ 早寝、早起き、朝ご飯の啓発や食育指導（給食指導も含む）の指導を行うことができている。	A	B	C	D	25 %	56 %	19 %	0 %	○		
			◇ アンケートなどを活用し、子どもたちの心のケアを普段から心掛け、行うことができている。	A	B	C	D	41 %	47 %	12 %	0 %	○		
			○ 子どもたちが外で元気に遊ぶ姿をよく見ることができる。	A	B	C	D	57 %	43 %	0 %	0 %	◎		
			◇ 手洗い、うがいや教室の換気などを奨励し、衛生指導に心がけている。	A	B	C	D	41 %	53 %	6 %	0 %	◎		
		あんぜんの花	◇ 外遊びを奨励している。	A	B	C	D	63 %	37 %	0 %	0 %	◎		
			○ 校内で、子どもたちは、ろう下歩行や遊び方など、安全に気を付けて過ごしている。	A	B	C	D	0 %	62 %	38 %	0 %	△		
			◇ ろう下歩行や遊び方についての事前・事後指導を心がけている。	A	B	C	D	35 %	65 %	0 %	0 %	◎		
			○ 子どもたちは、歩行や自転車の乗り方、公園での遊び方など、校外での安全に気を付けて過ごしている。	A	B	C	D	0 %	67 %	33 %	0 %	△		
			◇ 校外での公共マナーに関する指導や安全指導を、機会を見付けては、進んで指導することができている。	A	B	C	D	38 %	56 %	6 %	0 %	◎		
【徳育】 思いやりがあり、温かく心やさしい子ども	心の育ちの推進を図る教育を充実する。	あいさつの花	指導が生き、学校内では自分から進んであいさつをすることができる子どもが多く見られる。ただし、校外での地域の方々へのあいさつは、まだ進んでできていない子どもが多い。	○ 相手の目を見て、顔を見て、心を届けるあいさつができる子どもの姿が見られる。	A	B	C	D	14 %	57 %	29 %	0 %	△	●相手を意識したあいさつができている。今後もはげましながらあいさつの花を咲かせていきたい。 ●子どもたちのあいさつは、大きな声でできていてとても素晴らしい。あいさつのトーンに嫌みがなく、子どもらしい爽やかさを感じる。また、多くの子どもたちのあいさつから、学校全体の落ちつきを感じている。 ●昨年度と比べると進んであいさつする子が少ないように感じられる。 ●友達が困っていたり一人でいたりすると進んで声をかけ、一緒に遊ぶ姿が見られた。 ●週1時間の道徳を実践しているので、ほとんどの子どもたちは、落ち着いて過ごすことができていると考えられる。 ●友達との関わり方については日々の活動の中で指導してきた。もちろん学習内の教え合いを含め、トラブルをどう解決するかも細かく指導してきた。その結果、子どもたちの自主性も少しずつ成長してきたと考える。 ●友達とのトラブルは、じっくり話をして、自分たちで解決する力をつけてきている。生徒指導上の問題は、校長をはじめ、教頭、教務、担任と、組織で対応できている。 ●「もくもくそうじ」を子どもたちには声かけして、いっしょに掃除をしている。少しずつではあるが、一生けん命掃除をするようになってきた。 ●そうじの動作一つ一つに「心磨き」が表れている子どもの姿が、昨年度より減っていると感じられる。黙勤の意味の「自分の心を磨く時間」を踏まえ、掃除指導を充実させていく必要がある。
			◇ 上で示した気持ちのよいあいさつの指導を子どもたちに行うことができている。	A	B	C	D	29 %	65 %	6 %	0 %	◎		
			○ 子どもたちの方から先にあいさつする姿が見られる	A	B	C	D	10 %	62 %	29 %	0 %	△		
			◇ あいさつのタイミングに関する指導を子どもたちに行うことができている。	A	B	C	D	18 %	71 %	12 %	0 %	○		
			○ 友達のことを気にかけて、何事にも協力しながら取り組む子どもの姿が見られる。	A	B	C	D	25 %	55 %	20 %	0 %	○		
		なかよしの花	◇ 友達と協力している姿を称賛したり紹介したりする場（帰りの会など）を設け、仲よくすることや協力することの大切さについて指導している。	A	B	C	D	44 %	56 %	0 %	0 %	◎		
			○ 子どもたちに、思いやりのある行動が見られる。	A	B	C	D	29 %	62 %	10 %	0 %	◎		
			◇ 子どもたちの思いやりのある行動を賞賛したり紹介したりしている。	A	B	C	D	50 %	50 %	0 %	0 %	◎		
			◇ 週1時間の道徳の時間を大切にし、指導方法の工夫改善を図ることを心がけている。	A	B	C	D	13 %	60 %	27 %	0 %	△		
			◇ 全教育活動において、道徳教育や心の教育の充実が図られている。	A	B	C	D	24 %	71 %	6 %	0 %	◎		
そうじの花	○ 子どもたち自身の力で、友達間の中で起こったトラブルをすぐに解決できている。	A	B	C	D	6 %	41 %	53 %	0 %	▼				
	◇ 子ども同士のトラブルが発生しないように努めたり、トラブルが起きた場合はすぐに解決したりするよう指導を心掛けている。	A	B	C	D	31 %	69 %	0 %	0 %	◎				
	○ 黙々と真剣にそうじができる子どもの姿が見られる。	A	B	C	D	10 %	81 %	10 %	0 %	◎				
	◇ 心を磨くそうじ（黙勤）に関する指導を子どもたちに日々行うことができている。	A	B	C	D	29 %	59 %	12 %	0 %	○				
	○ 子どもたちは、そうじ時間をしっかり守ることができている。	A	B	C	D	28 %	61 %	11 %	0 %	○				
【知育】 進んで学び、考え、よさを生かす子ども	基本的生活習慣、学習習慣を定着させる。	がんばりの花	全国学力・学習状況調査やCRTなどのテストの結果を見ると、個々の学力の差に大きな開きが見られる。進んで発表したり宿題などをはじめとする課題に意欲的に取り組む子どももいれば、そうでない子どももいる。この学習への取組の姿勢が学力にも反映している。	○ 行事や日々の生活の中で子どもたちの頑張る姿が見られる。	A	B	C	D	33 %	62 %	5 %	0 %	◎	●行事に対して、高学年を中心に積極的な姿が見られた。 ●宿題忘れや忘れ物が多い子どもがいる。 ●発表の回数が増えてきた。自分の意見や考えを伝えられることに喜びを感じている様子が見られる。 ●本校の研究の視点の1つ「少人数での話し合い活動」を取り入れている成果が、子どもたちの見方や考え方に広がりを感じることができる。 ●教師の話を熱心に聞く姿が見られた。また、書き直しがあると、できるようになるまでがんばろうと取り組む姿が見られた。 ●最上級生として、下級生の手本になる様々な活動で、目標に向かって取り組みはじめた。 ●コミュニケーション能力の向上を目指すとともに、自主的に取り組む子どもたちを実現できるよう、日々取り組んできた。今後も自主活動を計画し、実行に移していきたい。
			◇ 子どもたちが主体的に活動できるように、学級活動の充実を図り、子どもたちが自主的に活動できる場や役割、時間を設けている。	A	B	C	D	12 %	71 %	18 %	0 %	○		
			◇ 子どもたちが主体的に活動できるように、活動に対してのアドバイスや励ましの声かけなどをしたりすることができている。	A	B	C	D	24 %	76 %	0 %	0 %	◎		
			○ 意欲的に、または、じっくりと学習に取り組む子どもたちの姿が見られる。	A	B	C	D	5 %	74 %	21 %	0 %	○		
			◇ 子どもたちの学習意欲を引き出すために、教材研究に励み、指導法の工夫に心がけている。	A	B	C	D	18 %	59 %	24 %	0 %	○		
			◇ 板書の工夫・ノート指導など、きめ細かな指導の工夫・改善を行ったり、それに伴った適切な評価に取り組んだりして、確かな学力の向上に努めている。	A	B	C	D	6 %	81 %	13 %	0 %	○		
			◇ コミュニケーション能力の向上を目指し、少人数での話し合いの場を設けたり、話し合いの仕方の指導を行ったりしている。	A	B	C	D	12 %	65 %	24 %	0 %	○		
			◇ 子どもたちが意欲的に、または、しっかりと学習に取り組めるように、定着を図るための個別指導（規律指導も含む）などを行ったりすることができている。	A	B	C	D	6 %	81 %	13 %	0 %	○		
			◇ 総合的な学習の時間や生活科においては、児童や学校・地域の実態等に応じた目標や評価基準を設定し、趣旨やねらいに即した学習活動が展開されている。	A	B	C	D	7 %	73 %	20 %	0 %	○		